



千船病院 広報誌

CHIBUNEXT 009
2025.3

【診療部】脳神経外科

千船病院脳神経外科について

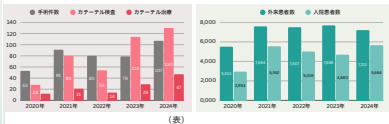
2021年度より日本脳卒中学会の一次脳卒中センター及び研修教育施設の認定を受け、それに伴い脳卒中ホットラインを開設し、脳卒中患者さんを選滞なく受け入れる体制づくりに取り組んできました。tPA静注療法（※1）はもとより、2023年度からは脳卒中幹線閉塞患者さんに対する脳血栓回収療法（※2）にも積極的に取り組んでいます。

（※1）点滴で血栓を溶かす治療法

（※2）血栓をカテーテルによって除去する治療法

脳疾患に対するカテーテル治療は、2022年14件、2023年29件、2024年47件と飛躍的に件数を伸ばしています（表）。それに付随して、カテーテル検査も、2022年54件、2023年114件、2024年130件と件数が増加しています。難易度の比較的高い手技（脳動脈瘤コイル塞栓術や硬膜動脈造影塞栓術など）については、兵庫医科大学脳神経外科講師で脳血管内治療指導医である森本二先生の支援を受け、安全に施行できる体制を築いています。

手術件数も、2022年80件、2023年79件、2024年107件と増加しています。脳血管障害に対する手術（開頭クリッピング術や、バイパス手術、頸動脈内膜剥離術など）をはじめ、脊髄手術に対しても、兵庫医科大学脳神経外科准教授の陰山博人先生の支援を受け、積極的に施行しています。また、2021年度より日本脳神経外傷学会の認定研修施設に認定され、頭部外傷診療にも積極的に取り組んでいます。



チーム医療

脳卒中診療では、早期に診断・治療を行い、早期からリハビリテーションを開始して、症状改善や筋力維持に努める必要があります。意識障害や嚥下障害などにより、経口摂取不能な患者さんも多く、栄養管理も重要です。また、状態が悪化すれば、早期に回復期リハビリテーション病院へ転院できるよう、入院時から退院支援を行う必要があります。このように、脳卒中診療では、医師や看護師だけでなく、理学療法士・言語聴覚士・作業療法士・管理栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなど、多職種スタッフがチームを組み、日々緊密に連携をとって、患者さん一人一人に合わせた診療を行うことが重要です。



脳神経外科
部長 榎原史智

脳神経外科病棟では、週に1回、多職種スタッフが一堂に集まり、脳卒中カンファレンスを行っています。2023年には尼崎だもつ病院のリハビリスタッフがご参加いただき、病院間の密な情報交換の場になっています。まず、医師から患者さんの治療方針を伝えたと上で、リハビリスタッフが患者さんの症状やリハビリ状況、リハビリ転院の必要性などを報告し、管理栄養士が栄養状態の評価やカロリーアップなどについて提案します。ソーシャルワーカーは患者さんの家族状況や経済的な側面も考慮した今後の方向性について助言します。カンファレンスの後は病棟をラウンドし、実際に患者さんの様子を確認します。

また、月に1回、脳卒中勉強会を行っています。医師からの脳神経外科疾患に関する病態生理や解剖、ドレーン管理などの術後管理についてはもちろん、リハビリスタッフが病棟での離床方法について解説したり、認定看護師による摂食・嚥下障害に関する講義なども組み入れています。

このように、専門のスタッフがそれぞれの立場で意見を出し合い、専門性を生かしながら、質の高い医療の提供を目標としています。西淀川区唯一の総合病院脳神経外科として、今後も西大阪の脳卒中医療を支えていきます。千船病院脳神経外科をお引き立てくださいますようお願い申し上げます。

【診療部】総合内科

带状疱疹とワクチン

带状疱疹（たいじょうほうしん）について



総合内科
医師 岩野 重明

带状疱疹とは水痘（水ぼうそう）と同じように、水痘・带状疱疹ウイルスを原因として発症する病気です。はじめは皮膚がビリビリするような痛みを感じ、時間の経過とともに赤みや水疱形成などの皮膚症状が現れます。時に全身に水痘のような発疹が広がる場合や、顔面神経麻痺や視力障害をきたす

こともあります。皮疹が治った後も疼痛や感覚異常が数月から数年にわたって続くことがあり、带状疱疹後神経痛と呼ばれる場合があります。带状疱疹は年齢に伴って発症率が高くなり、特に50歳代から急激に増加し、80歳までに約3人に1人が発症するとされています。また若年にも低いながらピークがあり、若くとも発症するリスクがあります。（表1）

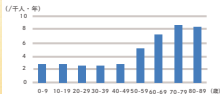
初め水痘・带状疱疹ウイルスに感染すると水痘として発症し、その後ウイルスは生涯にわたって体内に潜伏します。普段は悪さをすることはありませんが、ストレスや疲れ、免疫機能の低下などに伴い体内に潜んでいたウイルスが再活性化すると、带状疱疹を発症します。



治療と予防

带状疱疹の治療では、一般的には抗ウイルス薬による薬物療法が行われます。最近では50歳以上の人に対して带状疱疹ワクチンを使用できるようになり、ワクチンによる予防が可能となりました。

令和7年4月1日から、水痘带状疱疹ウイルスを定期接種の対象とすることが国の方針として決まっています。ワクチンは従来型の生ワクチンと比較的新しい組み換えワクチンがあり、それぞれ特徴があります。（表2） ワクチン接種をお考えの方は、当院総合内科へご相談ください。



帯状疱疹ワクチン 定期接種の特徴

	生ワクチン	減価生ワクチン
接種回数	1回	2回
予防効果	5-7年程度で減まる	10年以上も高い
おおよその費用	約8,000円	計約44,000円

(表1)

(表2)

看護部

専門看護師のご紹介

母性看護専門看護師

文：濱田 恵美子 科長



私は、助産師として就職後、母性看護専門看護師を取得しました。専門看護師として取り組む中で、出産前後の妊婦さんへの関わりが多いです。例えば院内の活動として、ハイリスク妊婦と呼ばれる未受診・過少受診・合併妊娠・特別養子縁組を選択する妊婦などの養育意思の決定をサポートしています。

母子が安全に暮らしている環境の調整を、身体面・精神面・社会面・経済面の視点を踏まえて行っています。

院内や院外でも、様々な方と知り合うことや協働することも多いので、妊娠に関連することだけでなく、女性の健康問題、子どもの性教育など、相談したいことがあればいつでもお知らせください。

梅香中学校1年生「いのちの授業」

2025年1月31日、梅香中学校の1年生へ「いのちの授業」に行ってきました。体験コーナーでは、妊婦体験ジャケット（約8kg）を装着して、仰向けに寝転ぶ、靴下をはく、床に落ちたタオルを拾うなどを行い、男子生徒にも妊婦の身体の重みや行動制限について考えてもらいました。その他、赤ちゃん（約3kg）の抱っこでは、実際に産まれた赤ちゃんの重さを感じてもらいました。約200人の生徒さん一人一人が真剣に体験や講義に向かい、いのちの大切さを皆で考える良い時間を共有できたと思います。これからも、地域の皆さんと一緒に、色々な時間を共有できればと思います。



千船病院 連携医療機関

こたけクリニック

☎ 06-4808-5518

📍 大阪府大阪市西淀川区柏里2丁目3-20
大西ビル201

👤 小竹 親夫 先生

【診療科目】 内科 / 循環器内科

【ホームページ】

https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/kotake/



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●
16:00~	▲	●	▲	●	●	●
18:00	●	●	●	●	●	●

▲・金曜日の午前の受付は12時までです。
△・金曜日の午後の診療時間14:30~17:00です。
受付時間15分前までの30分前までです。（初診の方は30分前までです）



近藤産婦人科

☎ 06-6471-2103

📍 大阪府大阪市西淀川区柏里2丁目2-12

👤 近藤 良介 先生
郡山 直子 先生

【診療科目】 産科 / 婦人科 / 内科

【ホームページ】

https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/kondosanfujinka/



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~	●	●	●	●	●	●
12:30	●	●	●	●	●	●
16:00~	●	●	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●	●	●

社会医療法人愛仁会 千船病院

〒555-0034 大阪府西淀川区福町3丁目2-39
TEL06-6471-9541 (代表)
阪神なんば線「福駅」徒歩1分

ホームページ



Instagram



そらとぶおくら

